

# mitsubishi

三菱 **自然冷媒** CO<sub>2</sub>ヒートポンプ給湯機

## 取扱説明書

### 三菱エコキュート

#### 大容量連結タイプ

システム形名

高温・混合給湯機種

エスアールター ジーイー エヌ

SRT-GE55N5

混合給湯専用機種

エスアールター ジーイー エヌ エス

SRT-GE55NS5

※耐塩害仕様タイプはシステム形名の末尾に「-BS」が付きます。  
耐重塩害仕様タイプはシステム形名の末尾に「-BSG」が付きます。

ご使用の前に

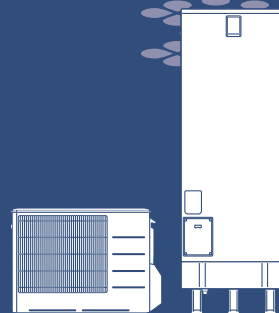
使いかた

こんなとき

故障かな

このたびは、三菱エコキュートをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ず読み、大切に保管してください。
- お客さまご自身では据付けないでください。安全や機能の確保ができません。
- 「保証書」「据付工事説明書」は、必ず所定の記載事項を確かめて、据付工事店（販売店）からお受け取りください。給湯機を他に売ったり譲渡されるときなどには、次の所有者の方へ渡してください。



# みんなの笑顔いっぱいの三菱エコキュート。

## 省エネ

大気の熱を利用し  
お湯をつくります  
23ページ

## 安心

火を使わないので  
空気を汚さず  
イヤなニオイもありません

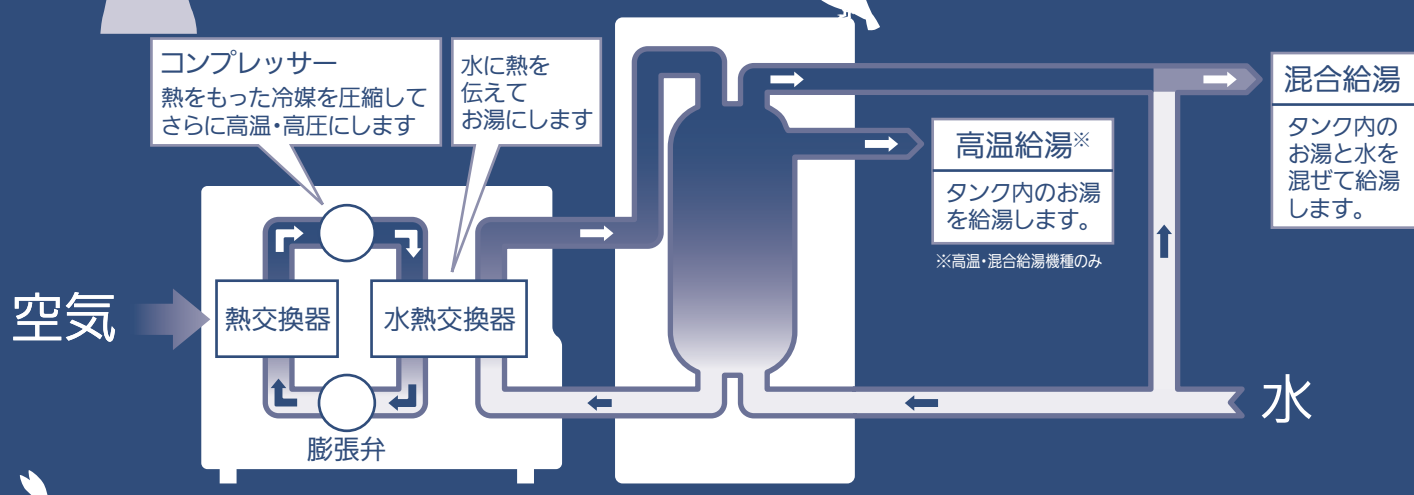
## 便利

茹麺機や食器洗浄機に使える  
高温給湯\*と、蛇口・シャワーに  
使える混合給湯があります  
※高温・混合給湯機種のみ

## 効率的

お客さまの営業時間に合わせて  
わき上げを行います  
12ページ

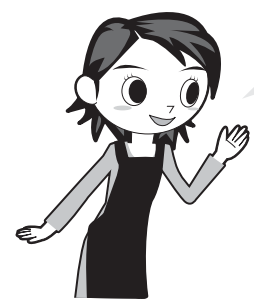
## エコキュートのしくみ



### 知っておいていただきたいこと

- 水は体積膨張するため、わき上げ中に排水口から水が排出されることがあります
- わき上げ中はヒートポンプユニットから運転音がします、また少量のドレン水が出ます
- お湯の温度・残湯量は周囲環境によって変動します

## 準備



- **ご使用前に必ずお読みください**
  - 4…安全上のご注意
  - 6…ご使用にあたってのお願い
  - 7…各部のはたらき
- **リモコンの表示を確認してください**
  - 点灯している場合は…そのままご使用ください
  - 消灯している場合は…「使いはじめ(準備) P25」をご覧ください

## もくじ

### 使いかた

- 混合給湯配管の
- 10 給湯温度設定**
- 12 店舗で使用する**
  - 12…営業時間設定
  - 12…休業日数
- 14 お湯をチェックする**

### 便利な機能

- 10…時計合わせ
- 11…わき上げ温度
- 11…最低湯量
- 13…満タンわき増し

### スマート機能

- 15…タンク内温度
- 15…給湯使用量
- 16…1週間平均使用量
- 16…湯切れ報知音
- 17…自動消灯時間
- 17…バックライトモード
- 18…湯切れ時止水(高温給湯側)\*  
※高温・混合給湯機種のみ
- 18…湯切れ時止水(混合給湯側)
- 19…貯湯量調整

### こんなとき

- 20 お手入れと点検**
  - 21…定期点検(有料)
  - 22…凍結防止
  - 22…非常時の取水方法
  - 23…機器の役割など
  - 24…長期間使用しない
  - 25…使いはじめ(準備)
  - 26…仕様

### 故障かな

- 27…故障かな?と思ったら
- 30…リモコンにエラーが表示されたら
- 31…保証とアフターサービス

ご使用前に

使いかた

こんなとき

故障かな

### 安全に使用するために

<b>警告</b>	前面カバーや工事用窓を開けない、給湯機やリモコンを分解・改造しない (漏電や感電・火災の原因)	ヒートポンプユニットの蒸発器のフィンや空気吹出口に手や棒を入れない(けがの原因)
	近くにガス類や引火物を置かない (ガスボンベからは2m以上離す。) (火災の原因)	異常(こげ臭いなど)時は、漏電遮断器の電源レバーを下げて電源を「切」にし、お買い上げの販売店または「修理窓口 P31」へ連絡する(火災・感電・やけどの原因)
<b>注意</b>	<b>そのまま飲用しない</b> 長期間のご使用によってタンク内に水あかがたまったり、配管材料の劣化で水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記に注意し一度沸騰させてください。 ●水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用し、かつ当社規定の水質であることを確認する。 ●熱いお湯が出てくるまでの配管にたまっている水は、雑用水として使用する。 ●固形物や変色、濁り、異臭があった場合、飲用せずに直ちに、据付工事店(販売店)へ点検を依頼する。	
	機器に乗ったり、物を乗せたり、配管に力を加えたりしない (事故・やけどの原因)	

### 機器の点検・お手入れに関する注意

<b>警告</b>	漏電遮断器の動作を確認する (感電の原因)	逃し弁を点検する(タンク、配管破損・水漏れの原因) 点検時は内部の配管に手を触れないでください。
	アース工事を確認する(感電の原因) アースの取付けは、据付工事店(販売店)へお問い合わせください。	ヒートポンプユニットの架台が傷んだ状態で使用しない (ヒートポンプユニットの落下、転倒によるけがの原因)
<b>注意</b>	凍結防止対策の確認をする (タンク、配管破損・水漏れの原因)	操作窓・配管カバーは閉じる (漏電や感電の原因)
	床面が防水・排水処理されているか据付工事店(販売店)へ確認する (水漏れによる損害の原因)	

### 長期間使用しないとき、使用を再開するとき

<b>警告</b>	長期間使用しないときは本書の手順にしたがい、機器と配管内の水を確実に抜く (凍結による機器破損の原因) <b>P24</b> 排水時はお湯に手を触れないでください。
<b>注意</b>	初めて使用するときや使用を再開するときは、本書の手順にしたがう <b>P25</b>

# 安全のために必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

<b>警告</b>	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があります。	<b>注意</b>	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつきます。
-----------	----------------------------------	-----------	--------------------------------------

■本文中に使われる図記号の意味は次のとおりです。

禁止	接触禁止	分解禁止	指示に従う	アース工事確認
----	------	------	-------	---------

■機器に使われる図記号の意味は次のとおりです。

感電注意	高温注意	発火注意	回転物注意
------	------	------	-------

## やけどを防ぐために!

<b>警告</b>	給湯時は湯水混合栓に手を触れない
	蛇口、シャワーの使いはじめは、湯温を確認する 特に使いはじめは、しばらくお湯に触れないでください。空気の混ざった湯が飛び散ることがあります。
	高温給湯配管※には手を触れない ※高温・混合給湯機種のみ
	ヒートポンプ配管に手を触れない
	給湯温度を変更するときは、他の蛇口の使用状況を確認する

部品名は各部のはたらき(P7～P8)をご覧ください。

# ご使用にあたってのお願い

## お湯を上手に使う

- 店舗営業時間を入力いただくことで、営業時間に合わせて効率的にお湯をわかします。
- 高温・混合給湯機種は、高温給湯、混合給湯の2経路がありますので、蛇口・シャワーだけでなく茹麺機や食器洗浄機にも使用できます。
- 貯湯式なので1日に使用できるお湯の量は限りがあります。シャワーや洗いものを流しっぱなしで使用すると、湯切れの原因になります。

## リモコンの時刻を確認する

- リモコンの時刻がずれた場合は、時刻を合わせ直してください。  
時刻がずれていると、営業開始時に満タンになりません。

## お湯の温度が低い

- 混合給湯で使用するお湯は、配管の放熱によって、設定温度より低くなる場合があります。低いと感じた場合は、設定温度を上げてください。

## 機器周辺部の点検

- 積雪時は機器の周囲を除雪してください。(誤動作や故障の原因)
- ヒートポンプユニットの周囲に通風の妨げとなるものを置かないでください。(性能低下や故障の原因)

## 機器の設置状況などを確認する

- 以下の場所に設置されている場合は、事故や故障などの原因となりますので、据付工事店(販売店)へご連絡ください。
- 運転音や振動が気になる場所(隣家の迷惑になる場所)
  - 最低気温がマイナス10℃以下となる場所
  - ヒートポンプユニットの屋内設置
  - 水平でない場所、不安定な場所、排水のしにくい場所
  - 階段・避難口などの付近で避難の支障となる場所
  - 冠水する可能性のある場所

## 停電したとき

- 停電したときでも「時刻」や「わき上げ温度」などは記憶されています。ただし、時刻がずれることがありますので、必ず時刻を合わせ直してください。
- わき上げ中に停電した場合は、停電終了後にわき上げを行います。

## 洗面台等の点検

- 洗面台や浴槽はよく洗ってください。汚れが付きにくくなります。

## 当社規定の水質であることを確認してください

- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用し、かつ当社規定の水質(必ず、事前に当社水質調査の実施が必要です。)であることを確認してください。
- 特に温泉水・地下水・井戸水のご使用は機器をご使用いただく期間の水質が、常に水道法の定める水質基準内である担保が取れないため、使用しないでください。(水質に起因した不具合が発生した場合、無償保証できません。)

## リモコンに水をかけない

- リモコンは防水タイプではありません。水をかけないでください。(故障の原因)

## 断水したとき(水が濁る)

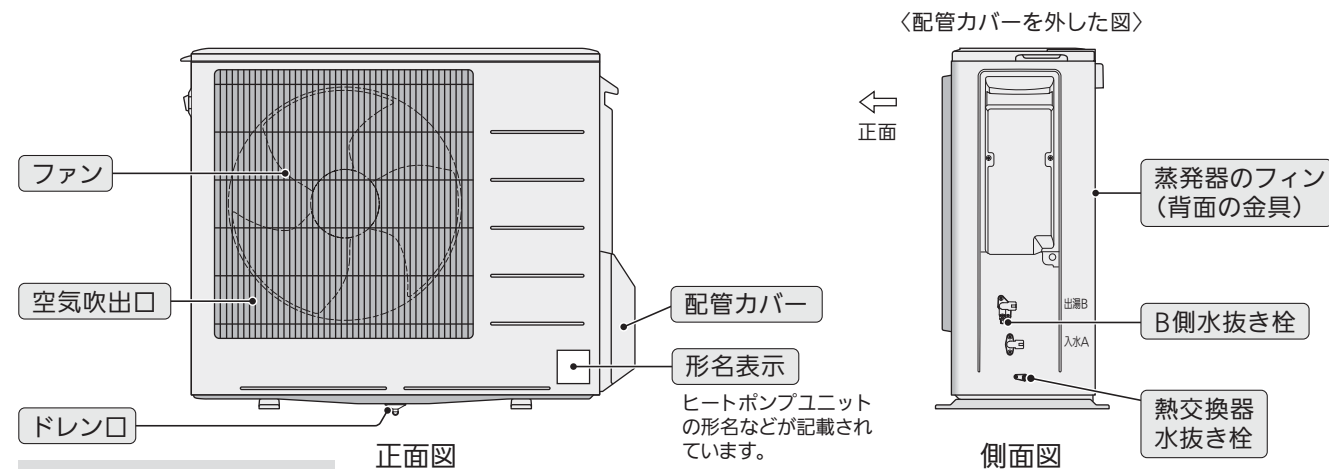
- ①断水したときや近くで水道工事が行われるときは、給水配管専用止水栓を閉じてください。(閉じないと給湯機からのお湯が止まります。)閉じないでそのまま使用すると、濁った水で貯湯タンクユニットのストレーナ部が目詰まりし、出湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。
- ②断水時は蛇口の混合栓を水側にして、蛇口は開けないでください。
- ③工事、断水が終了したら、蛇口の水側を開き、水の汚れがなくなったのを確認してから、給水配管専用止水栓を開いて使用を再開してください。

## 給湯を止めるとき

- 水栓のパッキンの交換などで、給湯機からの給湯を止めるときは、水道の元栓と給水配管専用止水栓を閉じてください。作業を行う場合は、一度、水栓を開き、お湯が出なくなったことを確認してから行ってください。

# 各部のはたらき

## ヒートポンプユニット



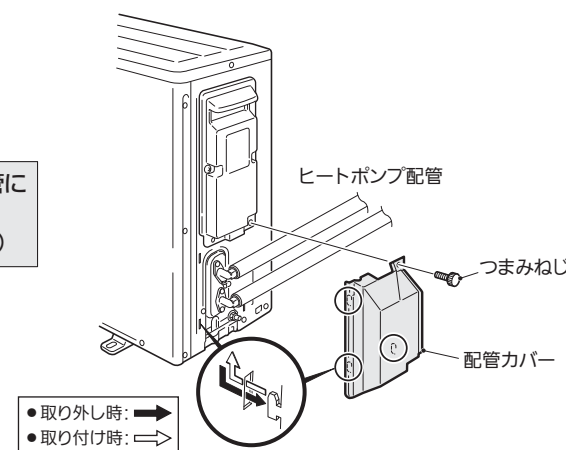
運転中はフィンに結露し、ドレン口から少量の水が出る(温度、湿度により変化します。)ことがあります故障ではありません。

### 配管カバーの外しかた

- (1)つまみねじ(1本)を外す
- (2)配管カバーを下方にずらしてツメを外し、手前に引く

### 警告

- ヒートポンプ配管に手を触れない(やけどの原因)



ご使用の前に

使いかた

こんなとき

故障かな

ご使用の前に

使いかた

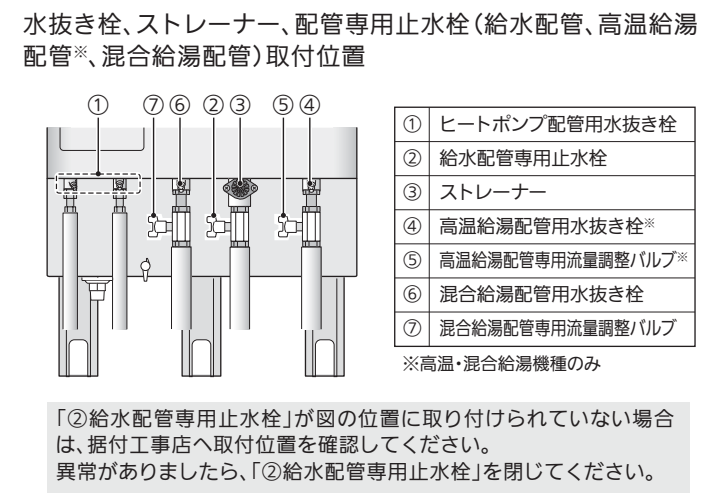
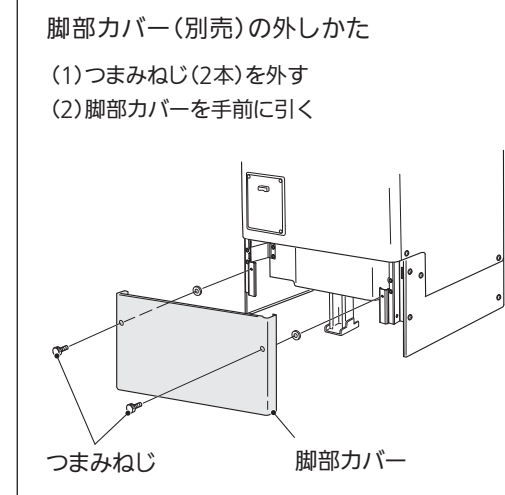
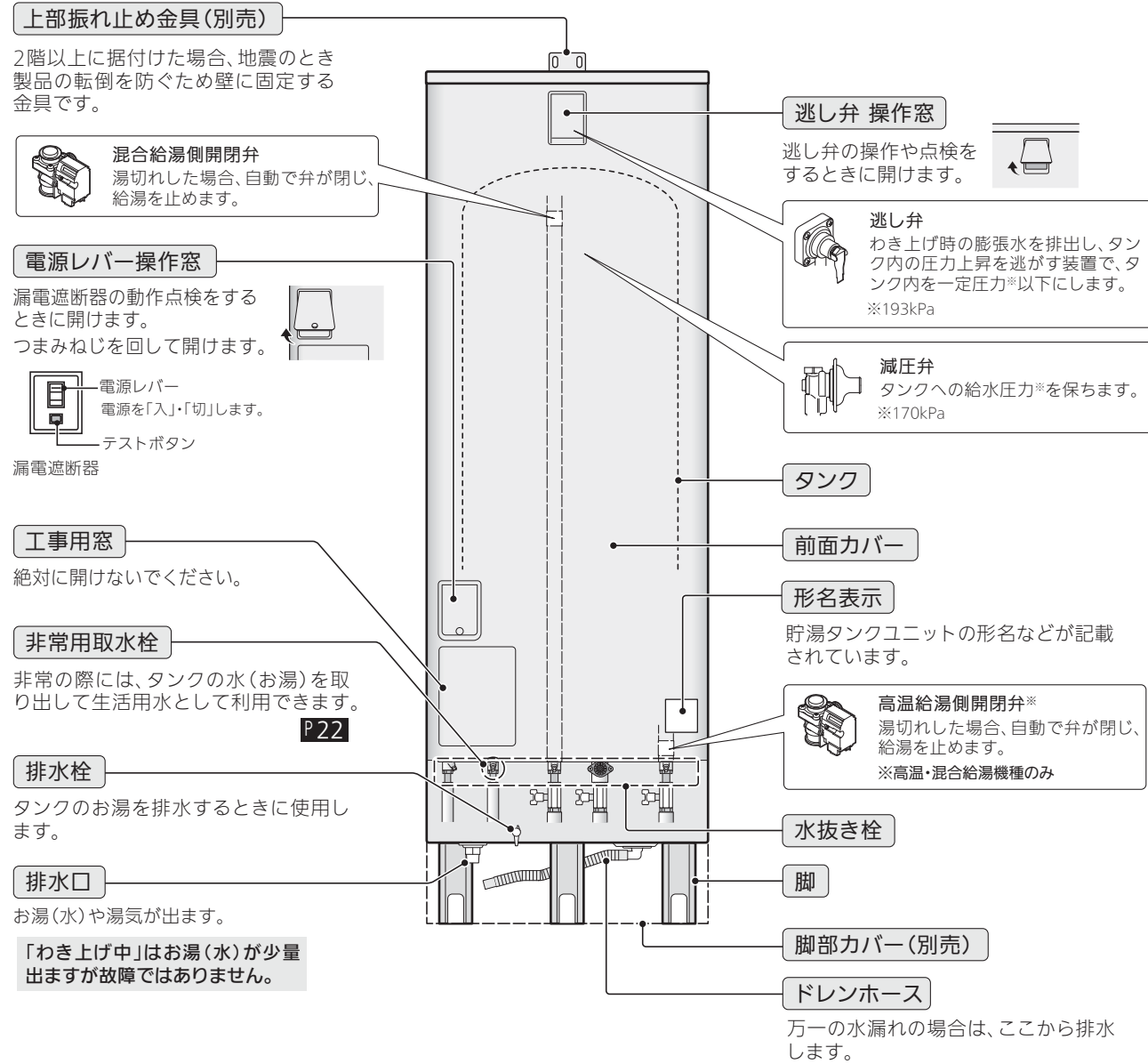
こんなとき

故障かな

# 各部のはたらき(つづき)

## 貯湯タンクユニット

高温・混合給湯機種で説明しています。  
混合給湯専用機種は高温給湯機能がありません。



# リモコンのはたらき

※リモコンのドット文字は株式会社リコー製ビットマップフォントを使用しています。  
※音声ガイダンスはありません。

7-ルIムジ- ジーIマ  
形名:RMC-GEN5

営業時間を設定します。 P12

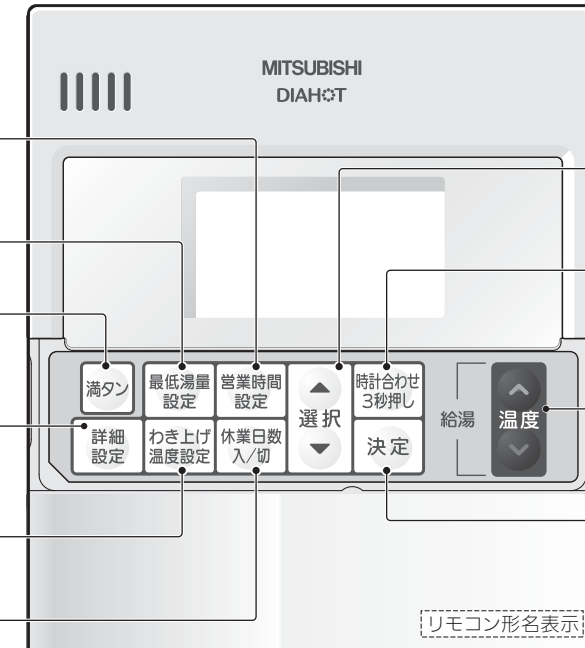
最低湯量を設定します。 P11

タンク内の湯のわき増しができます。 P13

〈スマート機能〉の表示・設定を行えます。(下記参照)

わき上げ温度を設定します。 P11

休業日数分だけ、給湯機のわき上げを停止するときに使用します。 P12



各機能の設定値を変更するスイッチです。

現在時刻を設定したり、変更するとき使用します。 P10

混合給湯配管に行くお湯の温度を設定できます。 P10

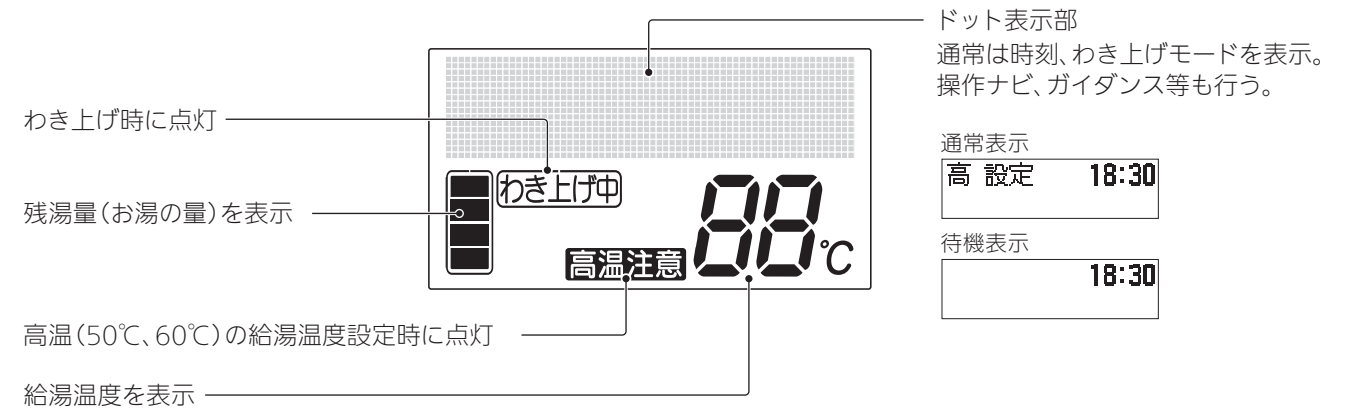
各機能の設定値を確定するスイッチです。

### スマート機能

- タンク内温度表示 P15
- 給湯使用量表示 P15
- 1週間平均使用量表示 P16
- 湯切れ報知音 P16
- 自動消灯時間 P17
- バックライトモード P17
- 湯切れ時止水(高温給湯側)\* P18  
※高温・混合給湯機種のみ
- 湯切れ時止水(混合給湯側) P18
- 貯湯量調整 P19

## リモコン表示部 (説明のため、画面は表示が点灯した状態にしてあります。)

画面はバックライト付きです。待機表示中は時計のみ表示します。



ご使用前に

使いかた

こんなとき

故障かな

ご使用前に

使いかた

こんなとき

故障かな

# 混合給湯配管の給湯温度設定

混合給湯配管の給湯温度(蛇口・シャワーへ行くお湯の温度)を設定できます。

※給湯機を複数ご使用のときは、すべてのリモコンで給湯温度を同じ設定に合わせてください。

## ●設定範囲

35℃～48℃(1℃刻み) / 50℃ / 60℃  
工場出荷時は50℃



### 1 給湯温度スイッチで温度を設定する

給湯温度が50℃に設定されました

- ▲ …温度が上がる
- ▼ …温度が下がる

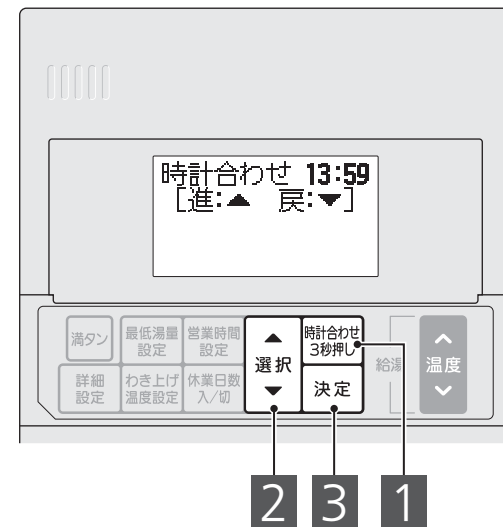
#### ポイント

- 給湯温度を50℃以上に設定した場合、リモコンに「高温注意」が表示されます。60℃に設定した場合はリモコンから警告音が鳴ります。
- サーモスタット付湯水混合栓において、混合給湯配管の給湯温度設定は使用のお湯の温度より10℃以上高くしてください。また、シャワー出湯量が少ない場合は、給湯温度設定を60℃にし、水と混ぜてご使用ください。
- 高温給湯配管(高温・混合給湯機種のみ)の給湯温度は変更できません。

# 時計合わせ

リモコンの時刻を正確な時刻に合わせてください。

※給湯機を複数ご使用のときは、すべてのリモコンで時刻を合わせてください。



### 1 時計合わせ3秒押しを3秒以上押す

時計合わせ 13:59 [進:▲ 戻:▼]  
時計合わせ 13:59 [確定: 設定]

### 2 選択スイッチで時刻を合わせる

時計合わせ 14:00 [進:▲ 戻:▼]

### 3 決定を押す

時計が14:00に設定されました

#### ポイント

- 各スイッチ操作は約1分間以内に行なってください。
- 時刻は24時間表示です。昼の12時の場合は「12:00」を、夜の12時の場合は「0:00」を表示します。
- 時計の時刻は停電などにより若干変動します。
- 表示部に「0:00」が点滅している場合は、わき上げできませんので、上記手順2からの操作を行なって時刻を合わせてください。

# わき上げ温度

給湯機のわき上げ温度を決めます。

※給湯機を複数ご使用のときは、すべてのリモコンでわき上げ温度を同じ設定に合わせてください。

## ●設定範囲

設定	わき上げ温度目安	わき上げ内容
高	約85℃	設定された営業時間中(P12)は、最低湯量の設定量を下回るとわき上げを開始します。
中	約75℃	
低	約65℃	
自動	約65℃ 約85℃	過去の使用湯量から学習したお湯の量を自動でわき上げるモードです。

工場出荷時は高



### 1 わき上げ温度設定を押す

わき上げ温度設定【高設定】

### 2 選択スイッチで設定する

わき上げ温度設定【自動設定】

- ▲ …1つ進む
- ▼ …1つ戻る

自動 → 低 → 中 → 高

### 3 決定を押す

わき上げが自動に設定されました

#### ポイント

- いつもより多めにお湯を使用する場合、お湯がたりなくなることがあります。その場合は満タンわき増しをご利用ください。(P13)
- 「自動」の場合、設置後2週間は学習運転を行うため、わき上げが多くなります。

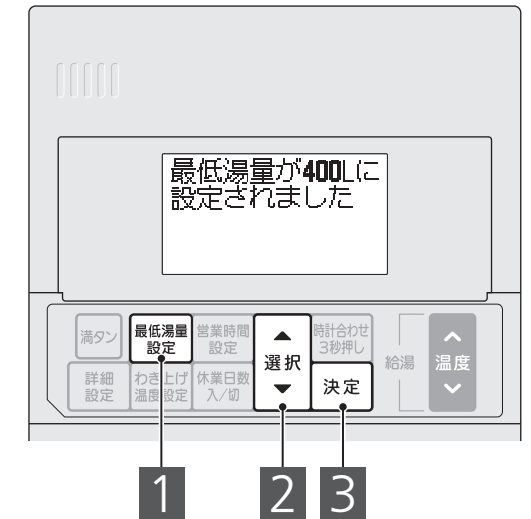
# 最低湯量

常に確保しておく湯量を選択できます。

わき上げ温度が「自動」のときは設定した値に関係なく、自動でわき上げを行います。

## ●設定範囲

最低湯量なし / 150L / 300L / 400L  
工場出荷時は300L



### 1 最低湯量設定を押す

最低湯量【300L】

### 2 選択スイッチで設定する

- ▲ …1つ進む
- ▼ …1つ戻る

最低貯湯なし → 150L → 300L → 400L

最低湯量【400L】

### 3 決定を押す

最低湯量が400Lに設定されました

#### ポイント

- 営業時間(P12)が24時間営業設定の場合、「最低湯量なし」は設定できません。
- 「最低湯量なし」に設定した場合、営業時間内はわき上げを行いません。
- 最低湯量は貯湯量調整(P19)と連動します。
  - 貯湯量調整を550L以外に変更した場合、「400L」は設定できません。
  - 貯湯量調整の設定値に合わせて、最低湯量に変更されます。

ご使用の前に

使いかた

こんなとき

故障かな

ご使用の前に

使いかた

こんなとき

故障かな

# 営業時間設定

営業時間を設定すると、営業開始時間に合わせてタンク内を満タンまでわき上げます。営業時間が8時間未満の場合は、24時間営業の設定をおすすめします。

※給湯機を複数ご使用のときは、すべてのリモコンで営業時間を同じ設定に合わせてください。

### ●設定範囲

24時間営業 / 営業時間設定 (開始時間～終了時間)  
※工場出荷時は営業時間設定 (8:00～22:00)



- 1 営業時間設定 を押す**  
24時間営業? いいえ [はい▲いいえ▼]  
↑交互表示  
24時間営業? いいえ [確定: 決定]
- 2 選択スイッチで設定する**  
24時間営業? はい [はい▲いいえ▼]  
● [▲]…はい:24時間営業(設定完了)  
[▼]…いいえ:営業時間設定(手順3へ)
- 3 決定 を押す**  
営業開始 8:00 [進:▲ 戻:▼]
- 4 選択スイッチで開始時間を設定する**  
営業開始 6:30 [進:▲ 戻:▼]  
● [▲]…30分進む [▼]…30分戻る (押し続けると連続して変更)
- 5 決定 を押す**  
営業終了 22:00 [進:▲ 戻:▼]
- 6 選択スイッチで終了時間を設定する**  
営業終了 20:00 [進:▲ 戻:▼]  
● [▲]…30分進む [▼]…30分戻る (押し続けると連続して変更)
- 7 決定 を押す**  
営業時間が設定されました

- ポイント**
- 現在時刻が設定されていない場合は、設定できません。
  - 最低湯量設定 (P11) が「最低湯量なし」の場合、24時間営業は設定できません。
  - 営業時間設定スイッチを押すと、1つ前の手順に戻ります。
  - スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。

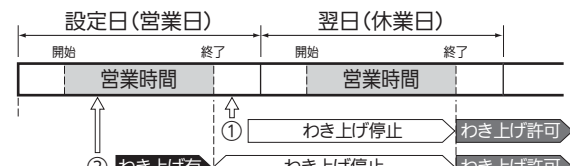
# 休業日数

翌日からお湯を使用しないときに、休業日数分だけ給湯機のわき上げを停止させ、電気代を節約できます。

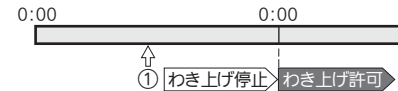
※給湯機を複数ご使用のときは、すべてのリモコンで休業日数を同じ設定に合わせてください。

### ●決めかた ※営業時間モードにより異なります。

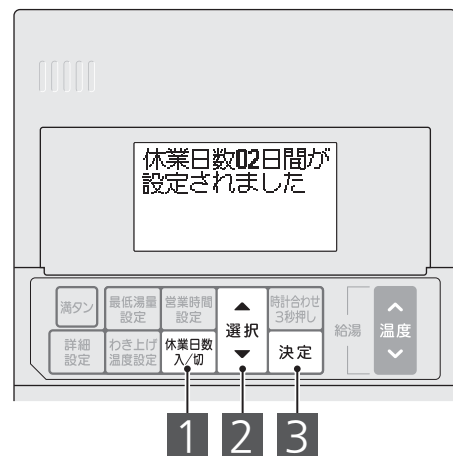
- 例1) 営業時間モード: 営業時間設定  
休業日数: 01日間 (翌日のみ休業) を設定した場合  
① 営業終了時に設定すると、その時からわき上げを停止します。  
② 営業時間内に設定すると、営業時間内はわき上げを行い、営業終了時間からわき上げを停止します。  
※翌々日の営業日には、お湯が使えます。



- 例2) 営業時間モード: 24時間営業  
休業日数: 01日間 を設定した場合、設定日の深夜0:00までわき上げを停止します。



### ●設定範囲 1～15日 / 長期停止



- 1 休業日数入/切 を押す**  
休業日数 00日間 [進:▲ 戻:▼]  
↑交互表示  
休業日数 00日間 [確定: 決定]
- 2 選択スイッチで休業日数を設定する**  
● [▲]…1日進む [▼]…1日戻る (押し続けると連続して変更)
- 3 決定 を押す**  
休業日数 02日間 [進:▲ 戻:▼]

- 解除するとき：もう一度休業日数スイッチを押す
- ポイント**
- 現在時刻が設定されていない場合は、設定できません。
  - 休業期間中に、満タンわき増しの設定、現在時刻の変更を行うと自動解除されます。
  - 予定日より早く営業する場合は、休業日数を解除し、満タンわき増しをご使用ください。
  - 「長期停止」とした場合、解除するまでわき上げません。

# 満タンわき増し

お湯がたりなくならないように、減ってきたらそのつどお湯をわき上げる機能です。来客数が普段よりも大勢になる場合など、たくさんのお湯が必要なときに設定してください。



- 1 満タン を押す**  
● 「満タン」が表示されます。  
満タンわき増しが設定されました  
お湯が減るたびにわき上げます
- 2 残湯量表示が減るとわき増しを開始します。**  
● わき増し中は「わき上げ中」が表示されます。

■解除するとき：もう一度満タンわき増しスイッチを押す

- ポイント**
- わき増し開始タイミングは、貯湯量調整 (P19) の設定によって変わります。(わき上げ温度が「自動」の場合は除きます。)
- | 貯湯量調整の設定 | わき増し開始タイミング |
|----------|-------------|
| 300L     | 残湯量表示3メモリ減  |
| 400L     | 残湯量表示2メモリ減  |
| 550L     | 残湯量表示1メモリ減  |
- 満タンわき増しは、一度設定すると、設定したその日の営業時間内は解除されるまで何回でもタンク全体のわき増しを行います。営業終了時間(24時間営業設定時は深夜0:00)になると自動的に解除されます。
  - 休業日数が設定されると、自動的に解除されます。
  - 満タンわき増しスイッチを押すと、初回のみお湯を使わなくてもわき上げを開始します。

ご使用の前に

使いかた

こんなとき

故障かな

ご使用の前に

使いかた

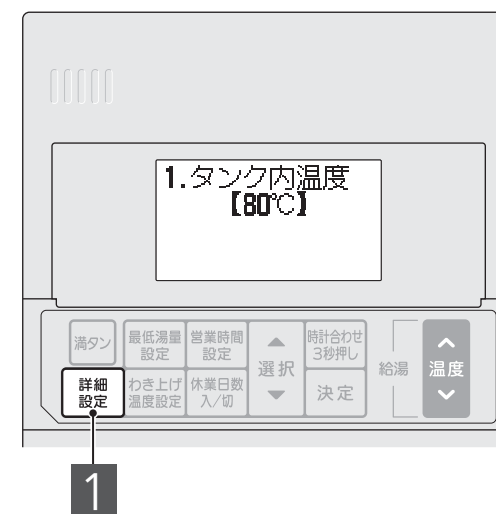
こんなとき

故障かな

# スマート機能

## 1.タンク内温度

現在のタンク内のお湯の温度を表示させることができます。



### 1 詳細設定を押す

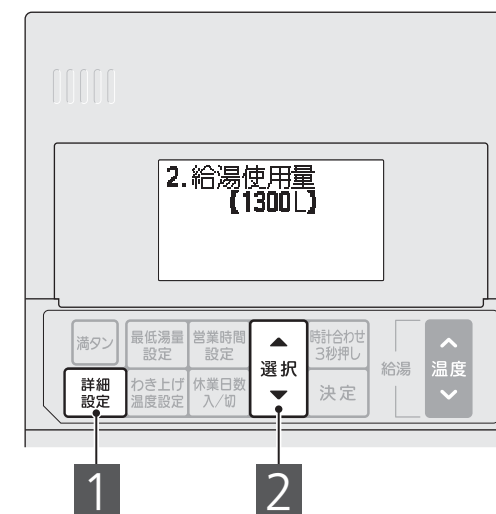
- タンク内温度が表示されます。

■通常表示(時刻表示)へ戻るとき：詳細設定スイッチを押す  
(スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。)

1.タンク内温度  
[80°C]

## 2.給湯使用量

昨日の高温給湯(高温・混合給湯機種のみ)と混合給湯を合わせた給湯使用量を表示させることができます。



### 1 詳細設定を押す

- タンク内温度が表示されます。

1.タンク内温度  
[80°C]

### 2 選択スイッチで「2.給湯使用量」を選ぶ

- 給湯使用量が表示されます。
- [▲]**…1つ進む  
**[▼]**…1つ戻る

■通常表示(時刻表示)へ戻るとき：詳細設定スイッチを押す  
(スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。)

1.タンク内温度  
[80°C]

2.給湯使用量  
[1300L]

#### ポイント

- お湯の使用量(エネルギー)を65°Cの給湯量で表示し、営業開始時間(24時間営業設定時は7:45)に更新を行います。
- 表示されるお湯の使用量は、タンク内のお湯の使用量と異なります。例えば、昨日の給湯使用量表示が「1300L」の場合、タンク内の熱いお湯と水を混ぜた混合給湯と、タンク内の熱いお湯を直接給湯した高温給湯(高温・混合給湯機種のみ)を合わせて1300L使用したことを表しています。

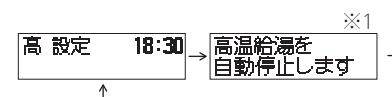
# 残湯量表示

タンク内の残湯量(45°C以上のお湯の量)をリモコンに表示します。お湯が少なくなったときは、満タンわき増しを使用してください。

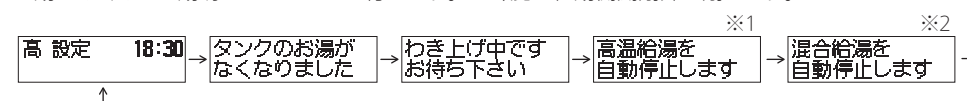
残湯量表示					
お湯の量	400L以上 (ほぼ満タン)	300L以上 400L未満	150L以上 300L未満	0L以上 150L未満 注1	残湯なし (湯切れ) 注2

※使用状況によっては湯量がたりなくなり、機能が満足できない場合があります。

注1.50L未満になると残湯メモリが点滅します。また、高温給湯側開閉弁(高温・混合給湯機種のみ)が閉じます。



注2.お湯がなくなると湯切れガイダンスを行います。また、混合給湯側開閉弁が閉じます。



※1.スマート機能「7.湯切れ時止水(高温給湯側)」が【自動開閉】設定時に表示されます。(高温・混合給湯機種のみ)

※2.スマート機能「8.湯切れ時止水(混合給湯側)」が【自動開閉】設定時に表示されます。

#### ポイント

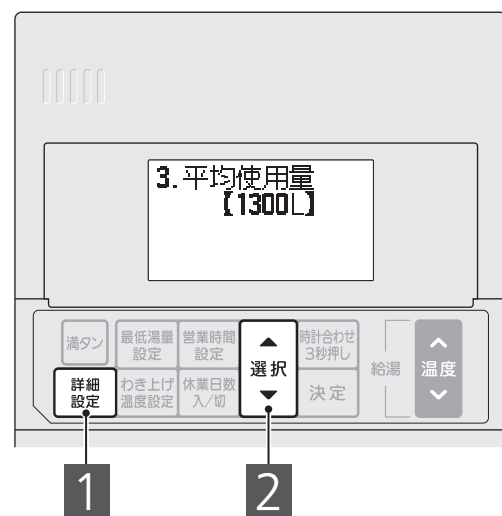
- 残湯量表示の「」は45°C以上のお湯を表しています。
- 自然放熱などで、タンク内のお湯の温度が下がると、お湯を使わなくても表示が変わることがあります。
- 設置直後など、1度もわき上げが完了していない場合は、お湯の増加とともに以下のように表示が変わります。

残湯量表示						
お湯の量	残湯なし	50L未満	50L以上 150L未満	150L以上 300L未満	300L以上 400L未満	400L以上 (ほぼ満タン)



### 3.1週間平均使用量

1週間平均の給湯使用量を表示させることができます。



**1** 詳細設定を押す  
1.タンク内温度【80℃】

**2** 選択スイッチで「3.平均使用量」を選ぶ  
3.平均使用量【1300L】  
●平均使用量が表示されます。  
●▲…1つ進む  
▼…1つ戻る

■通常表示(時刻表示)へ戻るとき：詳細設定スイッチを押す  
(スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。)

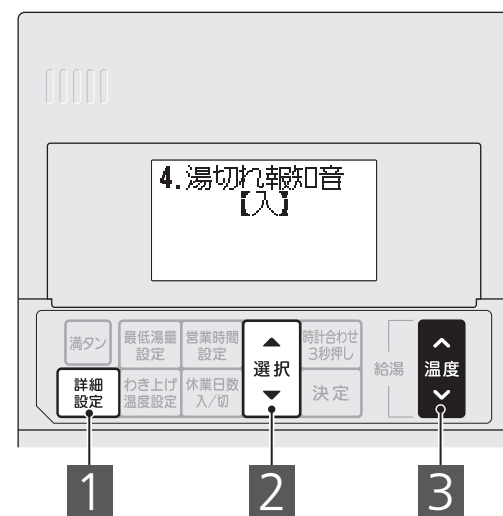
**ポイント**  
●お湯の使用量(エネルギー)を65℃の給湯量で表示し、営業開始時間(24時間営業設定時は7:45)に更新を行います。  
●表示されるお湯の使用量は、タンク内のお湯の使用量と異なります。例えば、昨日の給湯使用量表示が「1300L」の場合、タンク内の熱いお湯と水を混ぜた混合給湯と、タンク内の熱いお湯を直接給湯した高温給湯(高温・混合給湯機種のみ)を合わせて1300L使用したことを表しています。

### 4.湯切れ報知音

お湯が少なくなったとき、または、お湯がなくなったときに報知音を鳴らしてお知らせします。

●設定範囲

入：報知音あり／切：報知音なし  
工場出荷時は入



**1** 詳細設定を押す  
1.タンク内温度【80℃】

**2** 選択スイッチで「4.湯切れ報知音」を選ぶ  
4.湯切れ報知音【入】  
ご使用中の設定  
●▲…1つ進む  
▼…1つ戻る

**3** 給湯温度スイッチで入/切を決める  
4.湯切れ報知音【切】  
変更後の設定  
●▲…入になる  
▼…切になる

■通常表示(時刻表示)へ戻るとき：詳細設定スイッチを押す  
(スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。)

**ポイント**  
●通常は「入」でご使用ください。

### 5.自動消灯時間

画面を待機表示(時計のみ表示)させるまでの時間を変更できます。給湯機を使用しないまま設定時間が経過すると、画面が待機表示に切り替わります。

●設定範囲

4段階(1分/5分/10分/30分)  
工場出荷時は10分



**1** 詳細設定を押す  
1.タンク内温度【80℃】

**2** 選択スイッチで「5.自動消灯時間」を選ぶ  
5.自動消灯時間【10分】  
ご使用中の設定  
●▲…1つ進む  
▼…1つ戻る

**3** 給湯温度スイッチで時間を決める  
5.自動消灯時間【5分】  
変更後の設定  
●▲…時間が増える  
▼…時間が減る

■通常表示(時刻表示)へ戻るとき：詳細設定スイッチを押す  
(スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。)

**ポイント**  
●画面が消灯中でもスイッチ操作時はバックライトが点灯し、画面が復帰します。  
※高温給湯(高温・混合給湯機種のみ)、混合給湯使用時にもバックライトが点灯するように設定できます。  
6.バックライトモードを「モード1」に設定してください。  
●待機表示中でも給湯温度50℃または60℃設定時は「高温注意 給湯50℃」または「高温注意 給湯60℃」がスクロールします。

### 6.バックライトモード

バックライトの点灯/消灯の切り替え条件を3つのモードから選べます。

●設定範囲

モード1/モード2/モード3(下表参照)  
工場出荷時はモード2

バックライト消灯・点灯条件

モード	消灯条件	点灯条件	
		スイッチ操作時	高温給湯*、混合給湯使用時
モード1	5.自動消灯時間と連動	○	○
モード2	—	○	×
モード3	—	常時点灯	

※高温・混合給湯機種のみ



**1** 詳細設定を押す  
1.タンク内温度【80℃】

**2** 選択スイッチで「6.バックライトモード」を選ぶ  
6.バックライトモード【モード2】  
ご使用中の設定  
●▲…1つ進む  
▼…1つ戻る

**3** 給湯温度スイッチでモードを決める  
6.バックライトモード【モード1】  
変更後の設定  
●▲…モードが1つ進む  
▼…モードが1つ戻る

■通常表示(時刻表示)へ戻るとき：詳細設定スイッチを押す  
(スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。)

ご使用の前に

使いかた

こんなとき

故障かな

ご使用の前に

使いかた

こんなとき

故障かな

# スマート機能(つづき)

高温・混合給湯機種のみ

## 7.湯切れ時止水(高温給湯側)

【自動開閉】モードでご使用いただくと、湯切れ時に高温給湯配管からの出水を止め、他の給湯機のお湯と混ざらないようにします。

### ●設定範囲

3モード(【自動開閉】/【常時開】/【常時閉】)  
工場出荷時は【自動開閉】



- 1 **詳細設定** を押す  
1.タンク内温度【80℃】
- 2 選択スイッチで「7.高温給湯側」を選ぶ  
7.高温給湯側【自動開閉】  
ご使用中の設定
- 3 給湯温度スイッチでモードを決める  
7.高温給湯側【常時開】  
変更後の設定  
開閉弁高温側が設定されました

■通常表示(時刻表示)へ戻るとき：詳細設定スイッチを押す  
(スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。)

### ポイント

- 【常時閉】は、メンテナンスの際に設定します。通常は【自動開閉】でご使用ください。
- 湯切れしたときでも水を供給したい場合は、【常時開】でご使用ください。
- 混合給湯専用機種でもリモコンによるモードの設定は受け付けますが、高温給湯機能がないため、本体内の弁は動作しません。

## 8.湯切れ時止水(混合給湯側)

【自動開閉】モードでご使用いただくと、湯切れ時に混合給湯配管からの出水を止め、他の給湯機のお湯と混ざらないようにします。

### ●設定範囲

3モード(【自動開閉】/【常時開】/【常時閉】)  
工場出荷時は【自動開閉】



- 1 **詳細設定** を押す  
1.タンク内温度【80℃】
- 2 選択スイッチで「8.混合給湯側」を選ぶ  
8.混合給湯側【自動開閉】  
ご使用中の設定
- 3 給湯温度スイッチでモードを決める  
8.混合給湯側【常時開】  
変更後の設定  
開閉弁混合側が設定されました

■通常表示(時刻表示)へ戻るとき：詳細設定スイッチを押す  
(スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。)

### ポイント

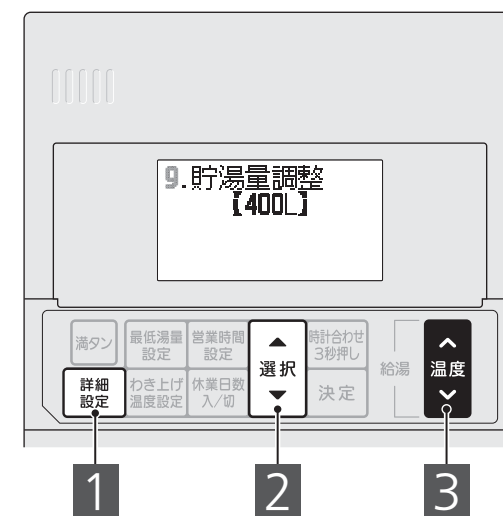
- 【常時閉】は、メンテナンスの際に設定します。通常は【自動開閉】でご使用ください。
- 湯切れしたときでも水を供給したい場合は、【常時開】でご使用ください。

## 9.貯湯量調整

給湯機を複数使用する場合、わか上げ量の最大量を調整できます。わか上げ温度が「自動」のときは設定した値に関係なく、自動でわか上げを行います。例えば、2台連結時の最大量は約1100L(550L×2台)となりますが、実使用量が750L程度の店舗では、それぞれを400Lに調節しておくことで、ムダなわか上げ量を削減できます。

### ●設定範囲

3段階(300L/400L/550L)  
工場出荷時は550L



- 1 **詳細設定** を押す  
1.タンク内温度【80℃】
- 2 選択スイッチで「9.貯湯量調整」を選ぶ  
9.貯湯量調整【550L】  
ご使用中の設定
- 3 給湯温度スイッチで貯湯量を決める  
9.貯湯量調整【400L】  
変更後の設定  
貯湯量調整が設定されました

■通常表示(時刻表示)へ戻るとき：詳細設定スイッチを押す  
(スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。)

### ポイント

- 貯湯量を変更した場合、最低湯量(P11)の設定値が連動して変更されます。

ご使用前に

使いかた

こんなとき

故障かな

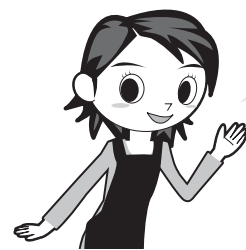
ご使用前に

使いかた

こんなとき

故障かな

# お手入れと点検



●安全・快適にお使いいただくため、定期的に行なってください。  
 点検時に異常がある場合は、給水配管専用止水栓を閉じ、漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店(販売店)へご連絡ください。

ご使用前の前に

使いかた

こんなとき

故障かな

## 逃し弁

水漏れ点検と動作点検を行います。わき上げをしていないときに行なってください。 頻度：年に2～3回程度

### 1 水漏れ点検

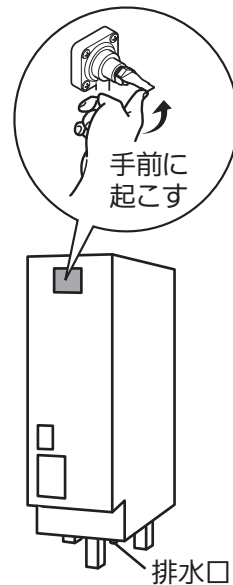
排水口から水(お湯)が出ていないことを確認する

水(お湯)が出ている場合は逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを数回動かしてください。

### 2 動作点検

逃し弁操作窓を開けて、逃し弁のレバーを手前に起こし、排水口から水(お湯)が出ることを確認する

### 3 逃し弁のレバーを戻す



**警告** ●点検時は、配管に手を触れない(やけどの原因)

**注意** ●逃し弁の点検をする(タンク、配管破損・水漏れの原因)

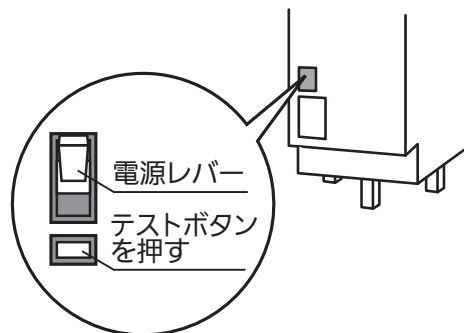
## 漏電遮断器

電源供給中に行なってください。 頻度：年に2～3回程度

### 1 操作窓を開け、テストボタンを押す

電源レバーが「入」→「切」になれば正常です。

### 2 必ず電源レバーを上げ、「入」に戻す



**警告** ●漏電遮断器の動作を確認する(感電の原因)

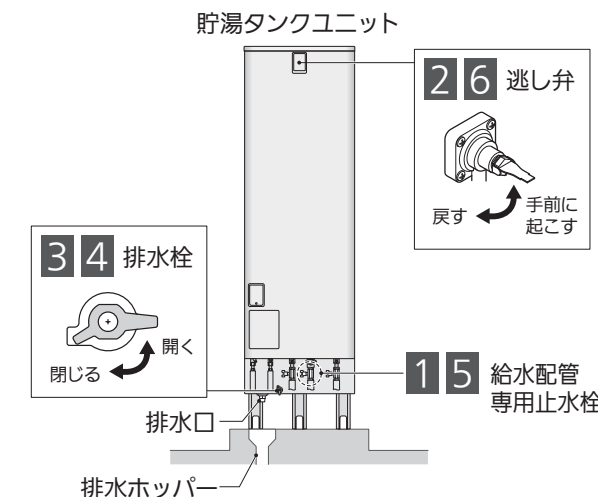
## 貯湯タンク

頻度：年に2～3回程度

タンクの下部にたまった汚れを排水します。わき上げをしていないときに行なってください。

- 1 給水配管専用止水栓を閉じる
- 2 逃し弁操作窓を開けて、逃し弁のレバーを手前に起こす
- 3 排水栓を約1～2分間開く  
タンクの下部にたまった汚れを排水します。排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調整してください。
- 4 約1～2分間たったら、排水栓を閉じる
- 5 給水配管専用止水栓を開く
- 6 排水口から勢よく水が出たら、逃し弁のレバーを戻す

高温・混合給湯機種で説明しています。



**警告** 排水時はお湯に手を触れない(やけどの原因)

## 配管の水漏れ 保温材破損

頻度：年に2～3回程度

配管の水漏れや保温材破損がないか点検します。破損している場合、配管が凍結し、本体や配管が破損することがあります。

### ポイント

- 保温材の点検は、冬期前には必ず行ってください。

**注意** 配管を点検するビルなど、中・高層住宅では水漏れが起きた場合、下層階に被害を及ぼすことがあります。

## リモコン

頻度：日常

表面が汚れたときは、乾いた布や固くしぼった布で拭いてください。

### ポイント

- ベンジンやシンナー、アルコールなどの化学薬品は使用しないでください。変形や変色の原因になります。

ご使用前の前に

使いかた

こんなとき

故障かな

## 定期点検(有料)

●給湯機を少しでも長くお使いいただくため、3～4年に1度定期点検(有料)を行なってください。

定期点検については、据付工事店(販売店)または「修理窓口(P31)」へご相談ください。点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。



### 定期点検の主な内容

- 据付状態 設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認
- 機能部品 電気部品(配線、導通、動作の確認)、弁類(減圧弁、逃し弁)、給水用具(逆流防止装置)※などの点検及び消耗部品の交換  
※給水用具(逆流防止装置)に関しては、(社)日本水道協会発行の給水用具の維持管理指針に基づいて点検をします。
- 清掃 タンク内の清掃(沈殿物の除去など)、給湯機のストレーナーの掃除

### 消耗部品について

- 下記部品の交換時は、当社別売部品をご指定ください。
- 減圧弁 ●混合弁 ●ポンプ
  - 逃し弁 ●バイパス弁 ●パッキン類
  - 高温給湯開閉弁(高温・混合給湯機種のみ)
  - 混合給湯開閉弁

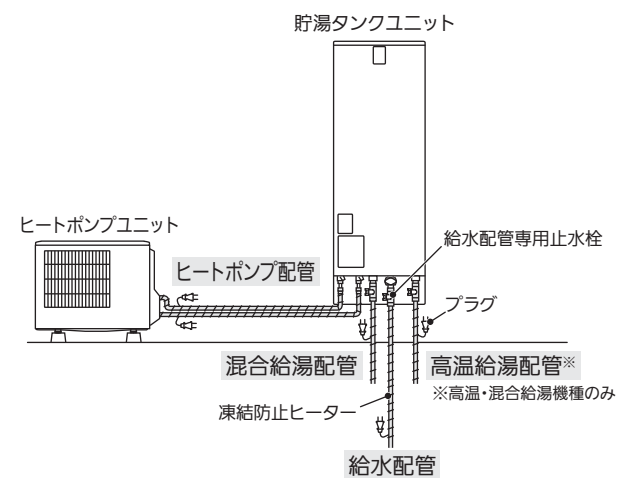
# 凍結防止

寒い季節になったら、凍結防止処置が行われているか、必ず確認してください。各配管に保温工事があっても、冬期は本体周囲温度が0℃以下になると配管が凍結し、機器や配管が破損したり、リモコンにエラーが表示されたりすることがあります。(寒冷地だけでなく暖かい地域でも凍結することがあります。) 据付工事店(販売店)へ相談し適切な凍結防止対策をしてください。

**⚠️ 注意**

- 凍結防止処置の確認をする凍結するとタンクや配管が破裂し、やけどや水漏れをすることがあります。

高温・混合給湯機種で説明しています。



- 凍結防止ヒーターが図のように設置されているか確認する
- 使用するときは、すべてのプラグをコンセントに差し込む

- ポイント**
- 凍結しない季節はコンセントからプラグを抜いておきます。
  - 配管が凍結した場合は、給水配管専用止水栓を閉じて据付工事店(販売店)へご連絡ください。
  - 貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットの凍結防止のため、ヒートポンプユニットを動作させて凍結防止運転を行います。(休業日数が設定されている場合でも、凍結防止のため動作することがあります。)

使用前に

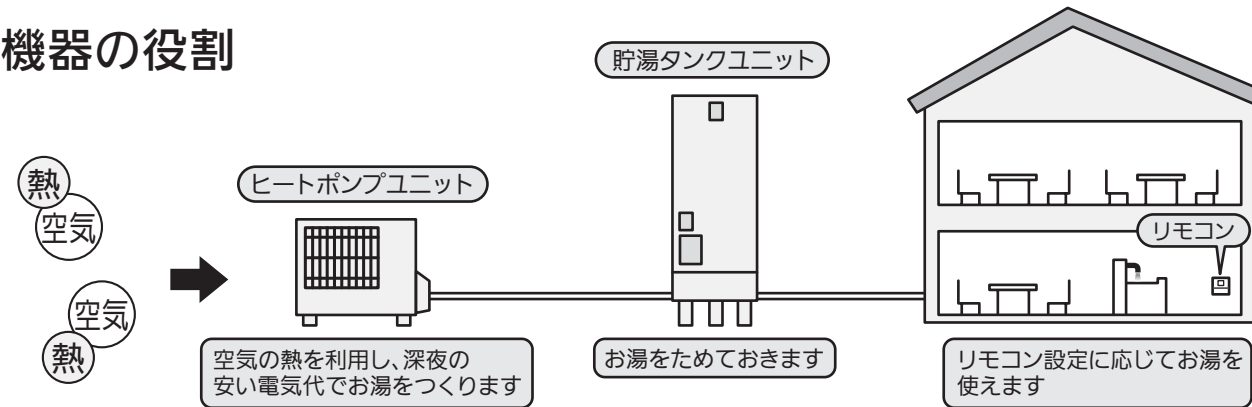
使いかた

こんなとき

故障かな

# 機器の役割など

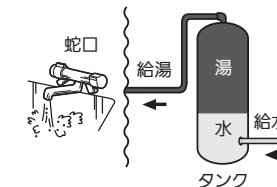
## 機器の役割



## 給湯機の基本原理

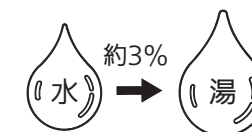
### ①自動給水・押し上げ方式です

蛇口をひねると、タンク内のお湯は給水水圧によって押し上げられ、タンク上部の給湯口より給湯配管を通して自動的に採湯することができます。使用したお湯の分だけの水が、給水口より水道水圧を利用して自動的にタンクに供給されるので、タンク内は常にお湯(水)で満たされています。



### ②水は体積膨張します

水がお湯になると必ず体積膨張を起こし、約3%増加します。例えば、550Lの温水器では、約17L分増えます。この増えた分を逃がす目的で逃し弁が取付けられます。わき上げ中に排水口からお湯が少しずつ排水されるのは、故障ではありません。正常な動作です。



### ③わき上げ中はヒートポンプユニットから運転音がします

運転中は運転音がします。また、ドレン口から少量の水が出る場合があります。

### ④タンク貯湯式です

わき上げたお湯をタンクに貯湯し、水を混合させて設定温度での給湯を行ったり、タンク内のお湯を直接給湯したり(高温・混合給湯機種のみ)できます。そのため、タンク内のお湯を使いすぎると湯切れすることがあります。

### ⑤換算湯量とは

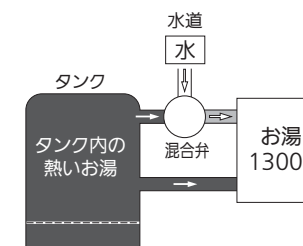
給湯使用量などで表示されるお湯の使用量は65℃換算湯量ですので、タンク内のお湯の使用量と異なります。例えば、昨日の給湯使用量表示が「1300L」の場合、タンク内の熱いお湯と水を混ぜた混合給湯と、タンク内の熱いお湯を直接給湯した高温給湯(高温・混合給湯機種のみ)を合わせて1300L使用したことを表しています。

簡略計算式

$$65^\circ\text{C換算湯量}[\text{L}] = \text{タンク内使用湯量}[\text{L}] \times \frac{\text{タンク内温度}[\text{C}] - \text{給水温度}[\text{C}]}{65[\text{C}] - \text{給水温度}[\text{C}]}$$

### ⑥高温・混合給湯機種は、高温給湯・混合給湯の2経路あります

高温給湯は茹麺機や食器洗浄機などの業務用途に、混合給湯は蛇口・シャワーに使用できます。



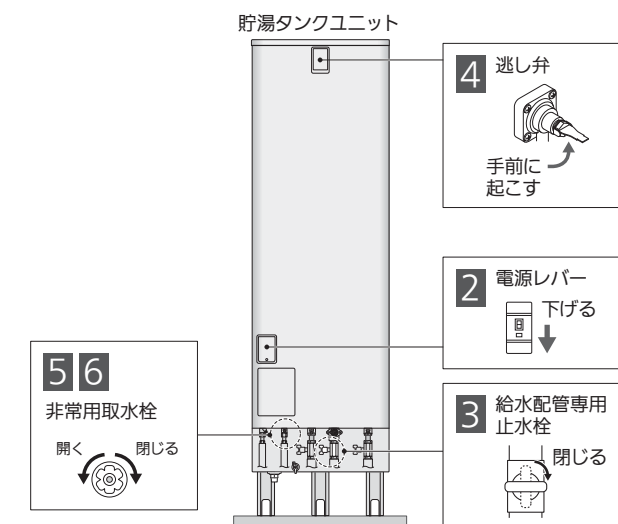
# 非常時の取水方法

タンクの水(お湯)を生活用水として利用できます。

**⚠️ 警告**

- 取水時は、やけどに注意する。取水中、急に熱湯(最高85℃)が出る場合があります。

高温・混合給湯機種で説明しています。



**1** 貯湯タンクユニットに脚部カバーがついている場合は脚部カバーの前面カバーを外す(外しかた: P.8)

**2** 貯湯タンクユニットの電源レバーを下げ、「切」にする

- 電気の供給を停止します。

**3** 給水配管専用止水栓を閉じる

- 貯湯タンクユニットへの給水を止めます。

**4** 貯湯タンクユニットの逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを手前に起こす

- タンクへ空気を取り入れます。

**5** 非常用取水栓を開く(1回転~1回転半まわす)

- タンクの水(お湯)を取り出します。バケツなどで受けます。

<取水が終わったら>

**6** 非常用取水栓を閉じ、手順1で外した脚部カバーを取り付ける

- ポイント**
- 再び使用するときには、逃し弁のレバーを戻し、非常用取水栓が閉じていることを確認してから、「使いはじめ(準備P.25)」を行ってください。

使用前に

使いかた

こんなとき

故障かな

# 使いはじめ(準備)

タンクの水抜きを行なった場合、下記の手順で給湯機の使用を再開します。またタンクの水抜きをせずに1カ月以上お湯を使用しなかった場合は、給湯機の水抜き(P24)をしてから次の手順を行なってください。

※給湯機を初めてご使用になる場合など、方法がわからないときは、据付工事店(販売店)へご相談ください。  
※給湯機を複数ご使用のときは、1システムずつ、すべての給湯機で行なってください。

## 1 以下のことを確認する

- 貯湯タンクユニットの電源レバー：「切」
- 給湯機の水抜き栓、排水栓、ストレーナー：「閉」
- すべての蛇口：「閉」

## 2 貯湯タンクユニットの設定準備をする

- (1) 200V電源ブレーカーを「入」にする
- (2) 電源レバーを「入」にし、約30秒間「入」にした後、「切」にする
- (3) 200V電源ブレーカーを「切」にする

## 3 機器を満水にする

- (1) 逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを手前に起こす
- (2) 給水配管専用止水栓を開き、貯湯タンクユニットへ給水する
- (3) 機器が満水になると、貯湯タンクユニットの排水口から水が出ます(満水までの目安：約30分)
- (4) 満水確認後、逃し弁のレバーを戻す
  - 満水にしてから電源を入れてください。また、満水になるまで蛇口は開けないでください。故障の原因となります。
  - 給水中は排水口から少量の水が出ますが故障ではありません。

## 4 電源を入れる

- (1) 200V電源ブレーカーを「入」にする
- (2) 電源レバーを上げ、「入」にする
  - 電源を入れると、わき上げを開始します。

## 5 湯切れ時止水設定を確認する

- (1) スマート機能「7.湯切れ時止水(高温給湯側)」(高温・混合給湯機種のみ)、「8.湯切れ時止水(混合給湯側)」が【自動開閉】になっているか確認する(P18)

## 6 機器のエア抜き運転を行う

- (1) リモコンの選択スイッチ「▲」「▼」を同時に3秒以上押す
  - エア抜き運転中は、リモコンに「エア抜き」が表示されます。10分後に自動で停止します。
  - エア抜き運転を途中で終了させる場合は、同手順(「▲」「▼」同時3秒押し)を行なってください。
  - 初期のみ、電源を入れる(4項)と、自動でエア抜きを行います。
- (2) エア抜き終了後、タンク上部のエアを抜くため、逃し弁のレバーを約1分前を起こす(1分後、レバーを戻す)

## 7 リモコンの時刻を確認する

- その他の設定(わき上げ温度、営業時間モードなど)も工場出荷時状態に戻っていることがありますので、確認してください。

## 8 お湯を使う

- 約8時間で満タンまでわき上がります。混合給湯配管は、やけど防止のため、湯水混合栓の温度調節つまみを「低」側にしてから給湯つまみを開き、適温に調整してお湯を使用します。

### 警告

- 使いはじめは、やけどに注意する  
特に使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散る場合があります。

# 長期間使用しない

長期間(1カ月以上)使用しないときは、運転を止め給湯機の水を抜きます。また、凍結による不具合防止のため、給湯機の通電を行なわないときは、下記要領で水抜きを行なってください。

警告	● 排水時は、やけどに注意する
注意	● 長期間(1カ月以上)使用しないときは、タンクの水を抜く ● タンクの熱湯を直接排水しない

※給湯機を複数ご使用のときは、1システムずつ、すべての給湯機で水抜きを行なってください。

## 1 準備

- (1) ヒートポンプユニットの配管カバーを外す(P7)
- (2) 貯湯タンクユニットに脚部カバーがついている場合は、脚部カバーの前面カバーも外す(P8)

## 2 タンク内のお湯を水にする

- 湯水混合栓(例えば台所など)を開き、熱いお湯が出なくなるまでお湯を出します。熱いお湯が出なくなったら閉じてください。

## 3 湯切れ時止水設定を確認する

- (1) スマート機能「7.湯切れ時止水(高温給湯側)」(高温・混合給湯機種のみ)、「8.湯切れ時止水(混合給湯側)」が【自動開閉】または【常時開】になっているか確認する(P18)

## 4 機器のエア抜き運転を行う

- (1) リモコンの選択スイッチ「▲」「▼」を同時に3秒以上押す
  - エア抜き運転中はリモコンに「エア抜き」が表示されます。

## 5 電源を切る

- (1) 貯湯タンクユニットの電源レバーを「切」にする

## 6 貯湯タンクユニット内の水を排水する

- (1) 給水配管専用止水栓(⑤)を閉じる
  - 高温給湯配管(高温・混合給湯機種のみ)、混合給湯配管専用流量調整バルブは閉じないでください。
- (2) 逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを手前に起こす
- (3) 排水栓(④)を開く
  - タンクの水(お湯)が抜けるまでに約1時間かかります。
  - 排水ホッパーから排水があふれないように調整してください。
  - 排水直後に逃し弁のレバーを戻さないでください。

## 7 排水後、機器(配管)の水抜きをする

- (1) ヒートポンプユニットの水抜き栓(①②)を開く
- (2) 貯湯タンクユニットの水抜き栓(①②③)を開く
- (3) 貯湯タンクユニット給水配管のストレーナー(⑥)を外し、逆止弁の解除ボタンを押す
  - 容器などで受けて排水します。
  - 水(お湯)が飛び散る場合がありますので、ご注意ください。
  - 確実に抜かないとエラーが表示される場合があります。

## 8 水抜き完了後の処置

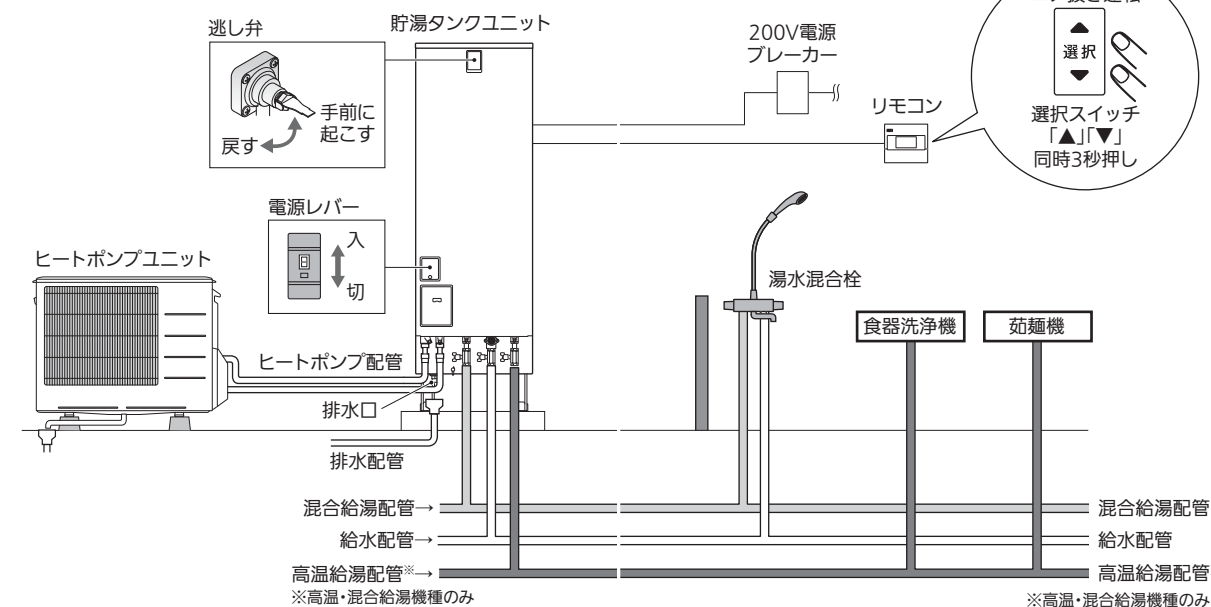
- (1) 水抜き完了後、1時間程度放置してから水抜き栓、排水栓、逃し弁を閉じ、ストレーナーを取り付ける
- (2) 手順1(1)(2)で外した配管カバー、脚部カバーを取り付ける

### ポイント

- 再び使用するときは、排水栓、水抜き栓が閉じていることを確認してから、「使いはじめ(準備) P25」を行なってください。

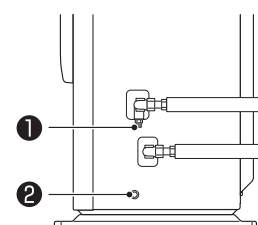
### 逃し弁、電源レバー取付位置

高温・混合給湯機種で説明しています。



### 水抜き栓、排水栓、ストレーナー、給水配管専用止水栓の取付位置

#### ヒートポンプユニット

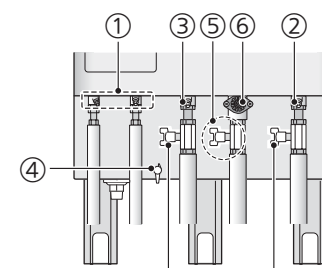


#### 水抜き栓の操作

- ① B側水抜き栓
- ② 熱交換器水抜き栓

※水抜き栓を開くときは①→②の順に開いてください。

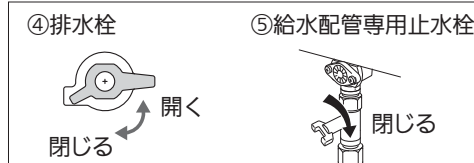
#### 貯湯タンクユニット



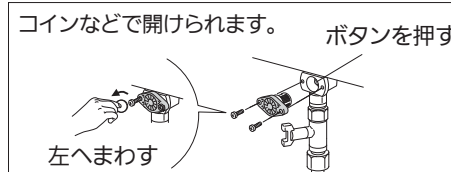
#### 水抜き栓の操作

- ① ヒートポンプ配管用
- ② 高温給湯配管用※
- ③ 混合給湯配管用

#### 排水栓、給水配管専用止水栓の操作



#### ⑥ストレーナーの外しかた/逆止弁の解除方法



# 仕様

**高温・混合給湯機種** 耐塩害仕様タイプはシステム形名の末尾に「-BS」が、耐重塩害仕様タイプは「-BSG」が付きます。

システム	形名	SRT-GE55N5	
	仕向地	一般地	
	定格電圧(周波数)	単相200V(50/60Hz共用)	
	標準貯湯加熱 COP(中間期)注1	4.3	
	最大電流	19A	
	わき上げ温度	約65℃～約85℃	
	給湯温度	高温給湯側	約65℃～約85℃(わき上げ温度)
	混合給湯側	35℃～48℃(1℃刻み)、50℃、60℃	
	安全装置	電流動作形漏電遮断器、缶体保護弁	
	給水器具認証書番号	W009-20020-057	
ヒートポンプユニット	形名	SRT-GEU72A5	
	設置場所	屋外専用	
	外形寸法(高さ×幅×奥行)	715mm×809(+70※)mm×300(+16)mm ※配管カバー寸法	
	質量	57kg	
	運転音(中間期※3/冬期※5)※6※7	44dB/47dB	
	標準貯湯加熱能力/消費電力(中間期)※2※3	7.2kW/1.69kW	
	標準貯湯加熱能力/消費電力(夏期)※2※4	6.0kW/1.22kW	
	高温貯湯加熱能力/消費電力(冬期)※1※2※5	7.2kW/2.40kW	
	冷媒名/冷媒量	CO <sub>2</sub> (R744)/1.20kg	
貯湯タンクユニット	形名	SRT-GET55N5	
	タンク容量	0.55m <sup>3</sup> (550L)	
	設置場所	屋外専用	
	外形寸法(高さ×幅×奥行)	2100mm×700mm×825mm	
	質量(満水時)	80kg(満水時 630kg)	
	通常使用圧力/水側最高使用圧力	170kPa(減圧弁圧力)/193kPa(逃し弁圧力)	
	制御用消費電力	3W	
	凍結防止ヒーター消費電力	48W	
	給湯配管接続可能数	高温給湯配管側:4台、混合給湯配管側:2台 <sup>※3</sup>	

**混合給湯専用機種** 耐塩害仕様タイプはシステム形名の末尾に「-BS」が、耐重塩害仕様タイプは「-BSG」が付きます。

システム	形名	SRT-GE55NS5	
	仕向地	一般地	
	定格電圧(周波数)	単相200V(50/60Hz共用)	
	標準貯湯加熱 COP(中間期)注1	4.3	
	最大電流	19A	
	わき上げ温度	約65℃～約85℃	
	給湯温度	35℃～48℃(1℃刻み)、50℃、60℃	
	安全装置	電流動作形漏電遮断器、缶体保護弁	
	給水器具認証書番号	W009-20020-057	
ヒートポンプユニット	形名	SRT-GEU72A5	
	設置場所	屋外専用	
	外形寸法(高さ×幅×奥行)	715mm×809(+70※)mm×300(+16)mm ※配管カバー寸法	
	質量	57kg	
	運転音(中間期※3/冬期※5)※6※7	44dB/47dB	
	標準貯湯加熱能力/消費電力(中間期)※2※3	7.2kW/1.69kW	
	標準貯湯加熱能力/消費電力(夏期)※2※4	6.0kW/1.22kW	
	高温貯湯加熱能力/消費電力(冬期)※1※2※5	7.2kW/2.40kW	
	冷媒名/冷媒量	CO <sub>2</sub> (R744)/1.20kg	
貯湯タンクユニット	形名	SRT-GET55NS5	
	タンク容量	0.55m <sup>3</sup> (550L)	
	設置場所	屋外専用	
	外形寸法(高さ×幅×奥行)	2100mm×700mm×825mm	
	質量(満水時)	80kg(満水時 630kg)	
	通常使用圧力/水側最高使用圧力	170kPa(減圧弁圧力)/193kPa(逃し弁圧力)	
	制御用消費電力	3W	
	凍結防止ヒーター消費電力	36W	
	混合給湯配管接続可能数	4台 <sup>※2</sup>	

注1.消費電力1kWあたりの加熱能力を表したものです。  
 標準貯湯加熱COP=標準貯湯加熱能力÷標準貯湯加熱消費電力、COPは成績係数(Coefficient of performance)の略  
 注2.各給湯機からの流量が1L/分以上の場合、1L/分を下回る場合はお湯が出ませんので、1L/分以上を確保できるように接続台数を減らしてください。  
 注3.接続台数を多くすると、高温給湯と同時に給湯されたときなど、大きくお湯の温度が変動しますので、3台以上接続しないでください。  
 注4.電力契約については最寄りの電力会社へお問い合わせください。この給湯機は「通電制御型夜間蓄熱式機器」ではありません。

※1 低外気温時は除霜のため、加熱能力が低下することがあります。  
 ※2 わき上げ終了直前では、加熱能力が低下することがあります。  
 ※3 作動条件:外気温(乾球温度/湿球温度)16℃/12℃、水温17℃、わき上げ温度65℃  
 ※4 作動条件:外気温(乾球温度/湿球温度)25℃/21℃、水温24℃、わき上げ温度65℃  
 ※5 作動条件:外気温(乾球温度/湿球温度)7℃/6℃、水温9℃、わき上げ温度85℃  
 ※6 運転音はJRA4060規格に準拠し、反響音の少ない無響室で測定した数値です。  
 実際に据え付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です。  
 ※7 複数台(2~4台)設置の場合、表示値よりも大きくなります。

ご使用の前に

使いかた

こんなとき

故障かな

# 故障かな?と思ったら

以下にしたがって処置をしても異常がある場合は、お買い上げの販売店または当社修理窓口へご相談ください。

直らないときは、  
お買い上げの販売店または  
修理窓口(P31)へ。



## お湯関係

お湯・水に関する内容です。

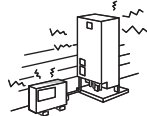
症状	処置・確認事項
お湯がたりない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● お湯をたくさん使用した場合は、<b>満タンわき増し(P13)</b>をご利用ください。</li> <li>● わき上げをしていないときに排水口から水(お湯)が出ている場合は、逃し弁の点検を行なってください。(P20)</li> </ul>
蛇口のお湯の温度が低い、水が出る	<p>〈混合給湯・高温給湯側(高温・混合給湯機種のみ)共通〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 配管の放熱によって、温度が低くなることがあります。</li> <li>● 湯切れしている場合、お湯は出ません。お湯がわくまでしばらくお待ちください。</li> <li>● タンク内の温度が低いときは、給湯温度より低い温度のお湯が出ることがあります。</li> </ul> <p>〈混合給湯側〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 混合水栓で水と混合されている場合は、給湯温度よりも低くなります。</li> <li>● 蛇口の開き方が少ないと、残湯があってもお湯が出ない場合があります。</li> </ul> <p>〈高温給湯側(高温・混合給湯機種のみ)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高温給湯はタンクに貯湯されているお湯を直接給湯します。お湯の使用状況やわき上げ状況によっては、温度が低くなることがあります。</li> </ul>
お湯の温度が変動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高温・混合給湯機種は、高温給湯と混合給湯を同時に使用すると、お湯の温度が変動することがあります。</li> </ul>
お湯から油が出る、臭い	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。気になる場合はタンク内の湯を入れかえてください。(P24)</li> <li>● 高温給湯口(高温・混合給湯機種のみ)は初回使用時に汚れが出ることがあります。ご使用前に蛇口の開閉を繰り返し、排水してください。</li> </ul>
青い線がつく	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 湯あかと銅配管等から溶出した銅イオンが反応して不溶性の青い銅石けんが付着したもので身体に害はありません。台所用の油污れ専用洗剤をスポンジにつけてこすれば除去できます。こまめな清掃により湯あかがつかないようにすれば防止できます。</li> </ul>
水が青く見える	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 光の波長の関係や浴槽の色などによって水が青く見えることがあります。</li> </ul>
お湯・水が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 給水配管専用止水栓、高温給湯配管(高温・混合給湯機種のみ)・混合給湯配管専用流量調整バルブが閉じている場合は、開いてください。</li> <li>● 断水時は、断水が終わるまで待ってください。</li> <li>● 配管凍結している場合は、給水配管専用止水栓を閉じて据付工事店(販売店)へご連絡ください。</li> <li>● 給水配管のストレーナーにゴミが詰まっている場合は、ゴミを取り除いてください。(P8)</li> <li>● <b>湯切れ時止水設定(P18)</b>が【常時閉】になっている場合は、【自動開閉】に設定してください。湯切れしている場合、水だけ供給しすぐに使用したいときは【常時開】にしてください。</li> </ul>
お湯・水が出るまでに時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 配管が長い場合は、お湯・水が出るまで時間がかかることがあります。</li> </ul>
お湯がわからない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 200V電源プレーカーまたは電源レバーが「切」になっている場合は、「入」にしてください。</li> <li>● <b>休業日数(P12)</b>を設定している場合は、<b>休業日数</b>を解除してください。</li> <li>● <b>営業時間(P12)</b>の設定が店舗営業時間と合っているかご確認ください。</li> <li>● <b>満タンわき増し</b>をご利用ください。(P13)</li> </ul>
お湯が白く濁って見える	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 水中に溶け込んでいた空気が細かい泡となって出てくる現象です。少し時間をおくと消えます。</li> </ul>

ご使用の前に

使いかた

こんなとき

故障かな



# 給湯機

貯湯タンクユニット、ヒートポンプユニットに関する内容です。

ご使用の前に

使いかた

こんなとき

故障かな

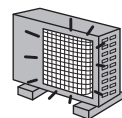
症状		処置・確認事項
貯湯タンク ユニット 	排水口からお湯(水)が出ている	<ul style="list-style-type: none"> <li>• わき上げ中は体積が増えた分のお湯が少しずつ排水されます。正常動作です。</li> <li>• わき上げ中以外にお湯が出ている場合は、逃し弁の点検を行なってください。(P20)</li> </ul>
	水が出ている	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 運転中はドレン口から少量の水が出る場合があります。</li> <li>• 温度、湿度によって、機器の底面に結露することがあります。</li> </ul>
ヒートポンプ ユニット 	休業日数設定中も動く	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 外気温度が低下すると、凍結防止のための運転を行うことがあります。</li> <li>• 営業終了時間までは、わき上げを行います。</li> </ul>
	運転音がうるさい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• わき上げ中は運転音が出ます。冬期等の外気温度が低い環境では、運転音は大きくなる場合があります。</li> <li>• 外気温度が低く、湿度が高いときは、自動霜取装置がはたらきますので、運転音が悪化する場合があります。</li> <li>• フィンに付着した霜がファンにあたり、音が出る場合があります。</li> </ul>
	運転/停止を繰り返す	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 外気温度が低いときは、ヒートポンプユニットの熱交換器の除霜のためファンの運転/停止を繰り返します。</li> </ul>
	営業終了時間になってもすぐにわき上げしない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 給水温度が高い場合や残湯量が多い場合は、営業終了時間(24時間営業設定時は深夜0:00)になってもすぐにわき上げを行いません。営業開始時間にお湯がわき上がるよう調整しています。</li> </ul>

## 冬期に多い現象

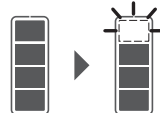
• ヒートポンプユニットの運転音は大きくなる場合があります。



• ヒートポンプユニットのフィンに霜がつき、白くなる場合があります。また、付着した霜がファンにあたり、音が出る場合があります。



• 配管からの放熱により、お湯を使っていないのに残湯量が減ったり、タンク内の温度が上がらないことがあります。



## 操作

リモコンの操作に関する内容です。

症状		処置・確認事項
満タン わき増し	スイッチを押してもわき上げをしない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• タンク内が既にわき上がっている場合は、わき上げを行いません。</li> </ul>

## 症状

## 処置・確認事項

タンク内 温度表示	タンク内の温度が低い	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 以下のことを行うとタンク内の温度が上がらない場合があります。             <ol style="list-style-type: none"> <li>① わき上げ中にお湯を使用した場合</li> <li>② わき上げ温度の設定を変えた場合(「中」→「高」など)</li> <li>③ 給水温度が低く、残湯量が少ない場合</li> <li>④ 配管からの放熱や外気温度が低い場合</li> <li>⑤ 使用量が少ない場合</li> </ol> </li> <li>• わき上げ温度が「自動」設定の場合、学習によってタンク内の温度は変わるため、わき上げを行なっていけば正常です。</li> </ul>
最低湯量	設定が勝手に変更されている	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 貯湯量調整(P19)と連動して、最低湯量の設定値は変更されます。</li> </ul>



## リモコン

リモコンの画面(表示部)やブザー(報知音)に関する内容です。

## 症状

## 処置・確認事項

リモコン 	表示が消えている、時々点灯する	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 給湯機を一定時間使用しない場合には画面が待機表示に切り替わります。(自動消灯時間:P17)</li> <li>• バックライトモードがモード1に設定されているときは、お湯を使用したときにバックライトが点灯します。(バックライトモード:P17)</li> </ul>
	お湯を使っていないのに残湯量が減る	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自然放熱などで、タンク内のお湯の温度が下がると、お湯を使わなくても残湯量が減ることがあります。</li> </ul>
	点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 漏電遮断器の電源レバーが「切」になっている場合は「入」にしてください。再度「切」になる場合は、そのまま据付工事店(販売店)へご連絡ください。</li> </ul>
	時刻が「00:00」で点滅する	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 時刻を設定してください。(P10)</li> </ul>
	突然、リモコンのブザーが鳴る	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 混合給湯温度を60℃に変更したときは、ブザーが鳴ります。</li> <li>• お湯の量が少なくなったとき、またはなくなったときに報知音が鳴ります。</li> </ul>
	表示が残像する	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 低温環境化では、液晶の動作が鈍り、表示に残像が残る場合があります。</li> </ul>
残湯量表示 	消灯中に文字が流れている(スクロールする)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 待機表示中の混合給湯温度50℃または60℃設定時には「高温注意 給湯50℃」または「高温注意 給湯60℃」がスクロールします。</li> </ul>
	営業開始時刻に「満タン」表示にならない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• わき上げ温度が「自動」設定の場合、お湯の使用量が少ないときは、不要なわき上げを防ぐため、タンク全量をわき上げないことがあります。</li> <li>• 営業終了時間～営業開始時間が短いと、満タンまでわき上がらないことがあります。</li> </ul>

ご使用の前に

使いかた

こんなとき

故障かな

# リモコンにエラーが表示されたら

リモコンにエラーが表示された場合は、下記にしたがって処置をしてください。  
処置をしても、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店または「修理窓口(P31)」へご相談ください。

表示	原因・処置
<b>U00</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>給湯機の給水口にお湯が供給されています。給湯機の給水口に水を供給してください。ソーラー温水器や給湯機が接続されている時は据付工事店(販売店)または「修理窓口」へご連絡ください。(P31)</li> <li>給水配管専用止水栓が閉じているときに蛇口を開きました。給水配管専用止水栓を開いてから、蛇口を開いてください。(P8)</li> <li>断水時や配管が凍結しているときに蛇口を開きました。断水時は断水が終わるまで待ち、蛇口を開いてください。凍結しているときは、給水配管専用止水栓を閉じて、据付工事店(販売店)へご連絡ください。</li> </ul>
<b>H03</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>給湯機とリモコンが正しい組み合わせではありません。据付工事店(販売店)へ連絡し、正しい組み合わせのものと交換してください。</li> </ul>
<b>H10</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットが正しい組み合わせではありません。据付工事店へ連絡し、正しい組み合わせのものと交換してください。正しい組み合わせでも「H10」が表示される場合は、据付工事店(販売店)または「修理窓口」へご連絡ください。(P31)</li> </ul>
<b>H11</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットが正しい組み合わせではありません。据付工事店へ連絡し、正しい組み合わせのものと交換してください。</li> </ul>
その他の表示 (E05)など	<ul style="list-style-type: none"> <li>給湯機の点検が必要です。200V電源ブレーカーと本体の漏電遮断器の電源レバーを「切」にし、給水配管専用止水栓を閉じてから、据付工事店(販売店)または「修理窓口」へご連絡ください。(P31)</li> </ul>

# 保証とアフターサービス

## ■保証書(添付)

- 保証書は、必ず「お買い上げ日、据付工事店名(販売店名)」などの記入をお確かめのうえ、据付工事店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。(取扱説明書、据付工事説明書なども保証書と一緒に保管してください。)
- 据付工事説明書(別添付)で指定されていない別売品を用いて使用した場合、故障が生じたときには責任を負いかねます。

保証期間	1年間
------	-----

## ■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この製品の補修用性能部品の製造打切り後10年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ■ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買い上げの販売店かお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」(下記一覧表)へご相談ください。

## ■修理を依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」(P27)にしたがってお調べください。なお不具合がある場合は、電源を「切」にしてから、据付工事店(販売店)にご連絡ください。
- 保証期間中は  
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって据付工事店(販売店)が修理させていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは  
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 修理料金は  
技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。
- ご連絡いただきたい内容

●品名: 自然冷媒CO <sub>2</sub> ヒートポンプ給湯機
●形名: (例) エスアルテ- ジューター エ SRT-GET55N5
●お買い上げ日: 年月日
●故障の状況: できるだけ具体的に
●お名前・ご住所(付近の目印なども)・電話番号・訪問希望日

※形名は貯湯タンクユニットの前面カバーに表示(P8)

- 据付(接続・調整・取扱説明等)を依頼されると有料となることがあります。

## ご相談窓口・修理窓口のご案内(家電品)

### 取扱い・修理のご相談は、まずお買い上げの販売店へ

- お買い上げの販売店にご依頼できない場合(転居や贈答品など)は、**各窓口**へお問い合わせください。

### ■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

- 三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。
- 1.お問合わせ(ご依頼)いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
  - 2.上記利用目的のために、お問合わせ(ご依頼)内容の記録を残すことがあります。
  - 3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
    - ①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
    - ②法令等の定める規定に基づく場合。
  - 4.個人情報に関するご相談は、お問合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

## ご相談窓口 家電品の購入相談・取扱い方法

受付時間365日24時間

### ●三菱電機お客さま相談センター

いつもサンキュー 365日  
フリーコール **0120-139-365** (無料)

携帯電話・PHS・IP電話の場合

三菱電機お客さま相談センター  
〒154-0001 東京都世田谷区池尻3-10-3  
FAX (03) 3413-4049 (有料) **(03) 3414-9655** (有料)

■ご相談対応 平日 9:00~19:00  
土・日・祝・弊社休日 9:00~17:00  
上記以外の時間は受付のみ可能です。

## 修理窓口 家電品の修理の問合せ・修理の依頼

受付時間365日24時間

### ●三菱電機修理受付センター

フリーダイヤル **0120-56-8634** (無料)  
インターネット **www.melco.co.jp**

携帯電話・PHS・IP電話の場合

北海道・東北 関東甲信越	東日本 修理受付センター FAX (03) 3424-1115 (有料)	<b>(03) 3424-1111</b> (有料)
東海・北陸・関西 中国・四国・九州	西日本 修理受付センター FAX (06) 6454-3900 (有料)	<b>(06) 6454-3901</b> (有料)

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

K10A



# 困ったときは

27 故障かな?と思ったら

13 お湯が少なくなったとき

22 災害時にタンクの水を使いたいとき

31 アフターサービス

# 必ずお読みください

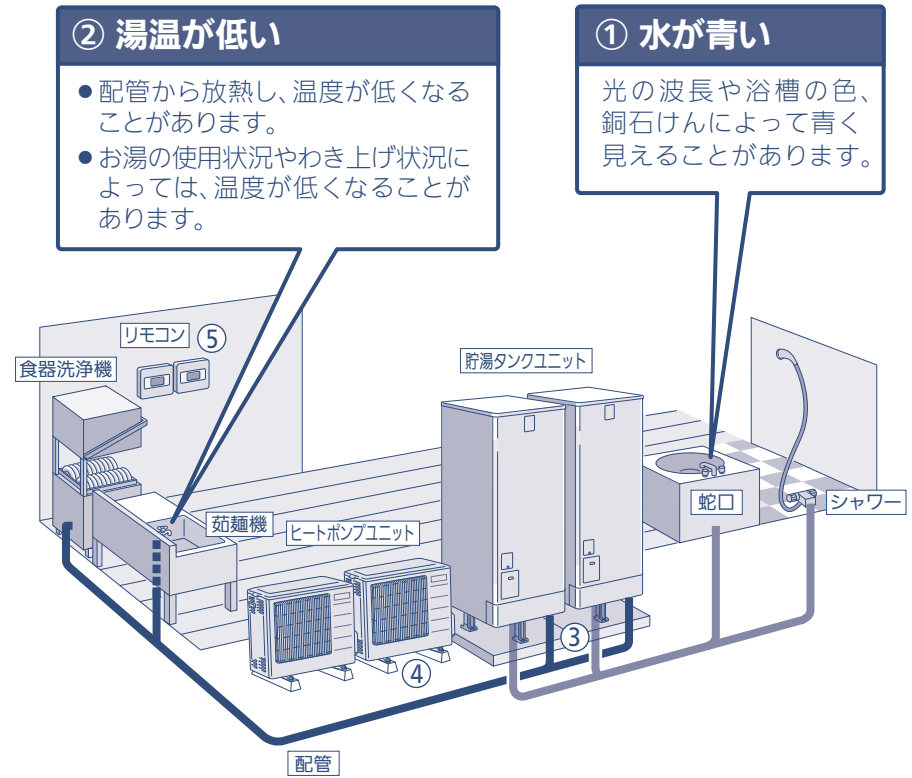
20 お手入れ

4 安全のために必ずお守りください

6 ご使用の前に

# よくあるご質問

高温・混合給湯機種で説明しています。



③貯湯タンクユニットの排水口からお湯が出る	わき上げ中は、お湯が少しずつ排水されます。
④ヒートポンプユニットから水が出ている	運転中はドレン口から少量の水が出る場合があります。
⑤リモコンの画面が点灯・消灯する	<ul style="list-style-type: none"> <li>●給湯機を一定時間使用しない場合には画面が待機表示に切り替わります。(自動消灯時間 P17)</li> <li>●バックライトモードがモード1に設定されているときはお湯を使用したときに点灯します。(バックライトモード P17)</li> </ul>

製品形名	SRT-GE55	据付工事店(販売店)の店名・住所・電話番号	
製造番号	1台目		
	2台目		
	3台目		
	4台目		
リモコン形名	RMC-GEN5		
お買上げ日	年 月 日		

点検・修理時の覚え書きとしてご使用ください。

<b>愛情点検</b> 	<b>★長年ご使用の給湯機の点検を!</b> ●この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後10年です。			
	<table border="1"> <tr> <td>                     こんな症状はありませんか                 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>●水が漏れている</li> <li>●時々漏電遮断器がはたらく。</li> <li>●その他の異常や故障がある。</li> </ul> </td> <td> <b>ご使用中止</b> </td> <td>                     故障や事故防止のため、電源ブレーカー及び本体の漏電遮断器を切り、給水配管専用止水栓を閉じてから、据付工事店に点検・修理(有料)をご相談ください。                 </td> </tr> </table>	こんな症状はありませんか	<ul style="list-style-type: none"> <li>●水が漏れている</li> <li>●時々漏電遮断器がはたらく。</li> <li>●その他の異常や故障がある。</li> </ul>	<b>ご使用中止</b>
こんな症状はありませんか	<ul style="list-style-type: none"> <li>●水が漏れている</li> <li>●時々漏電遮断器がはたらく。</li> <li>●その他の異常や故障がある。</li> </ul>	<b>ご使用中止</b>	故障や事故防止のため、電源ブレーカー及び本体の漏電遮断器を切り、給水配管専用止水栓を閉じてから、据付工事店に点検・修理(有料)をご相談ください。	



群馬製作所 〒370-0492 群馬県太田市岩松町800